



土地改良



みどり
水土里ネットとちぎは本会の愛称です。

第516号 平成29年度第1号



平成28年度田んぼのまわり生きものコンテスト 優秀賞「グア！グア！ご飯の時間ですよ！」（上山資源保全会・益子町）



鹿沼市 遊の郷 (<http://www.kanuma-kanko.jp/>)

栃木の土地改良

第516号 | 平成29年度第1号

MAIN CONTENTS

ご挨拶

◇新任ごあいさつ	栃木県農政部長	1
◇新任ごあいさつ	栃木県農政部農村振興課長	2
◇就任ごあいさつ	栃木県土地改良事業団体連合会専務理事	3

定期人事異動

◇栃木県職員の定期人事異動(主幹以上)	4
◇栃木県職員の退職者(平成29年3月31日付け)	5
◇本会職員の定期人事異動	5
◇本会職員の退職者(平成29年3月31日付け)	5
◇水土里ネットとちぎ事務局機構	6

会議

◇平成28年度第4回理事会を開催	7
◇平成28年度第3回監事会を開催	7
◇第98回通常総会を開催	8,9,10
◇平成29年度第1回理事会を開催	10
◇平成29年度第1回監事会を開催	11
◇栃木県土地改良事業推進協議会平成29年度第1回役員会を開催	11
◇平成29年度栃木県21世紀土地改良区創造運動推進委員会を開催	12
◇平成29年度栃木県土地改良区統合整備推進協議会を開催	12
◇平成29年度農業農村整備広報担当者会議	13

事業情報

◇多面的機能支払交付金に係るステップアップ推進講座を開催	14
◇平成28年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修会を開催	16
◇市貝町の2土地改良区が合併予備契約を締結	17

表彰

◇第58回全国土地改良事業功労者等表彰式	18
----------------------	----

案内

◇第40回全国土地改良大会「静岡大会」のお知らせ	19
◇新規職員紹介	20,21
◇各種資格取得者紹介(平成28年4月～平成29年4月)	22
◇第99回臨時総会・会員研修会のお知らせ	22
◇クールビズ開始のお知らせ	22
◇出前講座を活用しましょう	23
◇会員向けホームページ作成サービス開始のお知らせ	23
◇株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ	23



平成29年度「新任ごあいさつ」

栃木県農政部長

渡邊 和明

このたびの定期異動で栃木県農政部長を拝命いたしました。

栃木県土地改良事業団体連合会並びに会員の皆様には、平素より本県農業の振興に多大なる御尽力をいただいております。厚く御礼申し上げます。

農業・農村を巡る情勢は、人口減少に伴う国内消費の減少や担い手の高齢化、グローバル化の進展など大きな変化の中にあり、国では「農業競争力強化プログラム」を決定し、農業者の経営安定や収支改善を図ることとしております。

こうした中、本県におきましては「とちぎ農業“進化”躍動プラン」に基づき、将来を担う子供たちに夢を与え、人を惹きつける魅力ある農業・農村の実現を目指し、「稼げる農業」と「棲みよい農村環境」づくりを進めるための各種施策を展開しているところです。

なかでも、新たな園芸生産の戦略的拡大や国際化に対応した水田・畜産経営の確立に向けては、農地や農業水利施設等の整備が極めて重要な役割を担うものであり、露地野菜など高収益作物への作付け転換や農地中間管理機構と連携した担い手への農地集積・集約化に向けた基盤整備を積極的に推進して参ります。

また、農業水利施設の長寿命化や防災・減災対策、更には、多様な主体の参画による地域共同活動への支援や美しく豊かな田園風景の保全等を通じた農村の活性化に力を入れて参ります。

今後とも、関係機関・団体と連携しながら、農業農村整備事業の効果的・効率的な推進に努めて参りますので、皆様方のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

貴連合会の御発展と関係者の皆様の益々の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、新任の挨拶といたします。

新任ごあいさつ

栃木県農政部農村振興課長

清水 靖夫



農村振興課長に就任いたしました清水でございます。

会員の皆様方には、日頃から本県の農業農村の振興、とりわけ農業農村整備事業に多大なる御尽力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、農業・農村を巡る情勢は、人口減少・少子高齢社会の進行、グローバル化の進展など大きな変革の時を迎えています。このような中、昨年8月に閣議決定された新たな「土地改良長期計画」では、収益力の向上に向けた「産業政策」と農村の再生・創造に向けた「地域政策」を相乗的に組み合わせ、効果が発揮されるよう展開していくことが示されました。

こうした情勢を踏まえながら、県では、昨年度策定した本県農政の基本指針となる農業振興基本計画「とちぎ農業”進化”躍動プラン」に掲げた農村振興施策を着実に推進するため、農業者をはじめ地域住民、関係団体、市町村と一体となって、農業の基盤となる水（水利施設）と土（農地）を創造・再生する「農業生産基盤の整備・保全」を強力に推進し、より競争力の高いとちぎの強い農業を実現していくとともに、里（農村）にある豊富な地域資源を保全・活用し、快適な生活環境を整備することで、農村の活力向上となる施策を展開していくこととしています。

そこで、農村振興課としては、豊かな農村環境の

維持・保全を図るため、県協議会や市町等との連携のもと、多面的機能支払による地域共同活動への支援を行うとともに、農村地域における再生可能エネルギーの利活用を推進していきます。また、近年広域化しつつある鳥獣による農作物被害に対して、地域ぐるみの侵入防止柵の設置や鳥獣被害対策実施隊の設置拡大、ICTによる獣害防除技術実証などに取り組んでいきます。

また、中山間地域においては、鳥獣被害防止対策に加え、生産基盤と生活環境の総合的な整備や中山間地域等直接支払の円滑な実施、都市住民や若者等によるボランティア活動など地域の状況に応じた総合的な対策を進めていきます。

さらに、都市と農村の交流を通じた農業者の収益力向上に向けて、農産物直売所等の都市農村交流拠点施設の集出荷等の機能強化や豊かな農村資源を生かしたグリーンツーリズムの展開、急増している訪日外国人の受入体制の強化支援等により、農村地域への誘客を促進するための取組も進めていきます。

今後とも「子供たちに夢を与える魅力ある農業・農村の実現」に向けて、関係職員が一丸となって取り組んで参りますので、会員の皆様方の一層の御理解と御支援をよろしくお願い申し上げます。新任の挨拶とさせていただきます。



就任ごあいさつ

水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会）

専務理事 池田 真久

第98回通常総会、そして平成29年度第1回理事会において選任いただき、専務理事に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、農業情勢が目まぐるしく変貌する中、責任の重大さに身の引き締まる思いであります。穂野前専務理事同様、よろしくお願い申し上げます。

さて、我が国の農業農村は農業就業者の高齢化や、農村地域の活力の低下など、依然として厳しい状況にあります。しかし、基盤整備が進んだ地域においては、農地の大区画化を契機とした農業生産法人の設立や経営規模の拡大、さらには排水改良を契機とした高収益性作物への転換などの取組みがみられるところであり、こうした芽を大きく育て、将来に向けた明るい展望を切り開いてゆく必要があります。

一方、農業生産基盤を支えてきた土地改良区では、本来の役割である土地改良施設の整備や維持管理の充実・強化に加え、農地利用集積の促進や農業用水路などの保全管理を通じた農業・農村が有する多面的機能の発揮への貢献など、果たすべき役割が拡大しています。

このような状況の中、本会といたしましては、農地の大区画化・汎用化・担い手への利用集積等を促進する圃場整備事業や、農業水利施設の長寿命化・

耐震化のための診断・更新事業など、地域が目指す農業に沿った条件整備を支援しているところです。また、これらの支援をより効率的・効果的に実施するため、農業水利施設機能総合診断士、農業土木技術管理士等の資格取得等を通して、より一層の技術力向上を図っているところでございます。

現在、国会では土地改良法の一部改正法案が審議されております。農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者の申請・同意・費用負担によらず、都道府県が基盤整備を実施できる制度の創設や、土地改良施設の突発事故について、原則として農業者からの申請によらず、国又は地方公共団体が、災害復旧事業と同一の手続きで事業を実施できる措置等の改正が行われる見込みです。

本会と致しましては、これら国・県の農業・農村をめぐる動向や、厳しい地方財政などの現状を的確に捉え、関係機関と一層の連携と協調を図りながら、会員の皆様方の多様なニーズに応じていく所存でございます。

もとより微力ではございますが、本県農業・農村の発展のため、誠心誠意努力して参る所存ですので、今後ともお力添えを賜りますようお願いいたします。就任の挨拶といたします。

栃木県職員（土地改良関係）の定期人事異動

◆平成 29 年 4 月 1 日付け土地改良関係幹部職員（○印は昇任、敬称略）

農政部長（農政部次長兼農政課長）	渡邊 和明
農政部次長兼農政課長（地域振興課長）	○鈴木 正人
農業大学校長（農政部参事兼那須農業振興事務所長）	吉沢 豊
農政部参事兼下都賀農業振興事務所長（農村振興課長）	○荒井 真一
農政部参事兼塩谷南那須農業振興事務所長（安足農業振興事務所長）	○山田 健悦
農政部参事兼那須農業振興事務所長（畜産振興課長）	○神辺 佳弘
農政課総務主幹（人事課主幹兼課長補佐（総括））	石井 陽子
農村振興課長（農政課農政戦略推進室長）	清水 靖夫
畜産振興課長（上都賀農業振興事務所企画振興部長）	斎藤 実
河内農業振興事務所長（下都賀農業振興事務所農村整備部長）	荒井 忠雄
安足農業振興事務所長（芳賀農業振興事務所企画振興部長）	鈴木 政明
農政課主幹兼課長補佐（総括）（とちぎ男女共同参画センター主幹兼所長補佐（総括）兼事業推進課長）	植木 信行
農政課農政戦略推進室長（経済流通課農産物ブランド推進班長）	金原 啓一
農村振興課主幹兼課長補佐（総括）（農村振興課長補佐（総括））	○岸 洋助
農村振興課主幹（環境対策担当）（河内農業振興事務所農村整備部長補佐（総括）兼整備課長）	○増田 康則
河内農業振興事務所農村整備部長（那須農業振興事務所農村整備部長）	関根 忠雄
上都賀農業振興事務所企画振興部長（畜産振興主幹）	関戸 章一
上都賀農業振興事務所農村整備部長（芳賀農業振興事務所農村整備部長）	池田 勝浩
芳賀農業振興事務所次長兼管理部長（下都賀教育事務所主幹兼所長補佐（総括）兼総務課長）	高沢 浩
芳賀農業振興事務所企画振興部長（農地整備課主幹兼課長補佐（総括））	青柳 俊明
芳賀農業振興事務所農村整備部長（安足農業振興事務所企画振興部長）	関口 安紀
下都賀農業振興事務所農村整備部長（農村振興課主幹（環境対策担当））	明瀬 敏
下都賀農業振興事務所主幹（河内農業振興事務所企画振興課長）	○川嶋 一将
塩谷南那須農業振興事務所次長兼管理部長（砂防水資源課主幹兼課長補佐（総括）（事業管理担当））	石井 重雄
那須農業振興事務所農村整備部長（那須農業振興事務所那須広域ダム管理支所長）	手塚 由和
那須農業振興事務所那須広域ダム管理支所長（那須農業振興事務所農村整備部長補佐（総括）兼調査保全課長）	○阿久津 啓
安足農業振興事務所次長（情報システム課主幹兼課長補佐（総括））	日野 好人
安足農業振興事務所企画振興部長（下都賀農業振興事務所主幹）	渡辺 修一
河内農業振興事務所農村整備部長補佐（総括）兼整備課長（農村振興課長補佐（中山間地域担当））	阿部 恒久
那須農業振興事務所企画振興部長補佐（総括）兼企画振興課長（農地整備課長補佐（調査計画担当））	和気 芳道
那須農業振興事務所農村整備部長補佐（総括）兼調査保全課長（農村振興課長補佐（技術調整担当））	後藤 伸一
安足農業振興事務所企画振興部長補佐（総括）兼企画調整課長（安足健康福祉センター所長補佐兼総務企画課長）	松島 勉
農地整備課長補佐（総括）（下都賀農業振興事務所企画振興部長補佐）	木村 浩幸

栃木県職員（土地改良関係）の退職者（平成29年3月31日付け）

◆退職者（敬称略）

農政部長	小林 延年
農政部参事兼下都賀農業振興事務所長	福田 靖夫
農政部参事兼塩谷南那須農業振興事務所長	池田 真久
河内農業振興事務所長	角田 永子
河内農業振興事務所次長兼管理部長	黒駒 一之
河内農業振興事務所農村整備部長	渋井太美雄
上都賀農業振興事務所農村整備部長	八木沢英一
芳賀農業振興事務所次長兼管理部長	後藤 良明
技術管理課検査監	古口 清貴

本会職員 of 定期人事異動

◆平成 29 年 4 月 1 日付け職員（○印は昇任、敬称略）

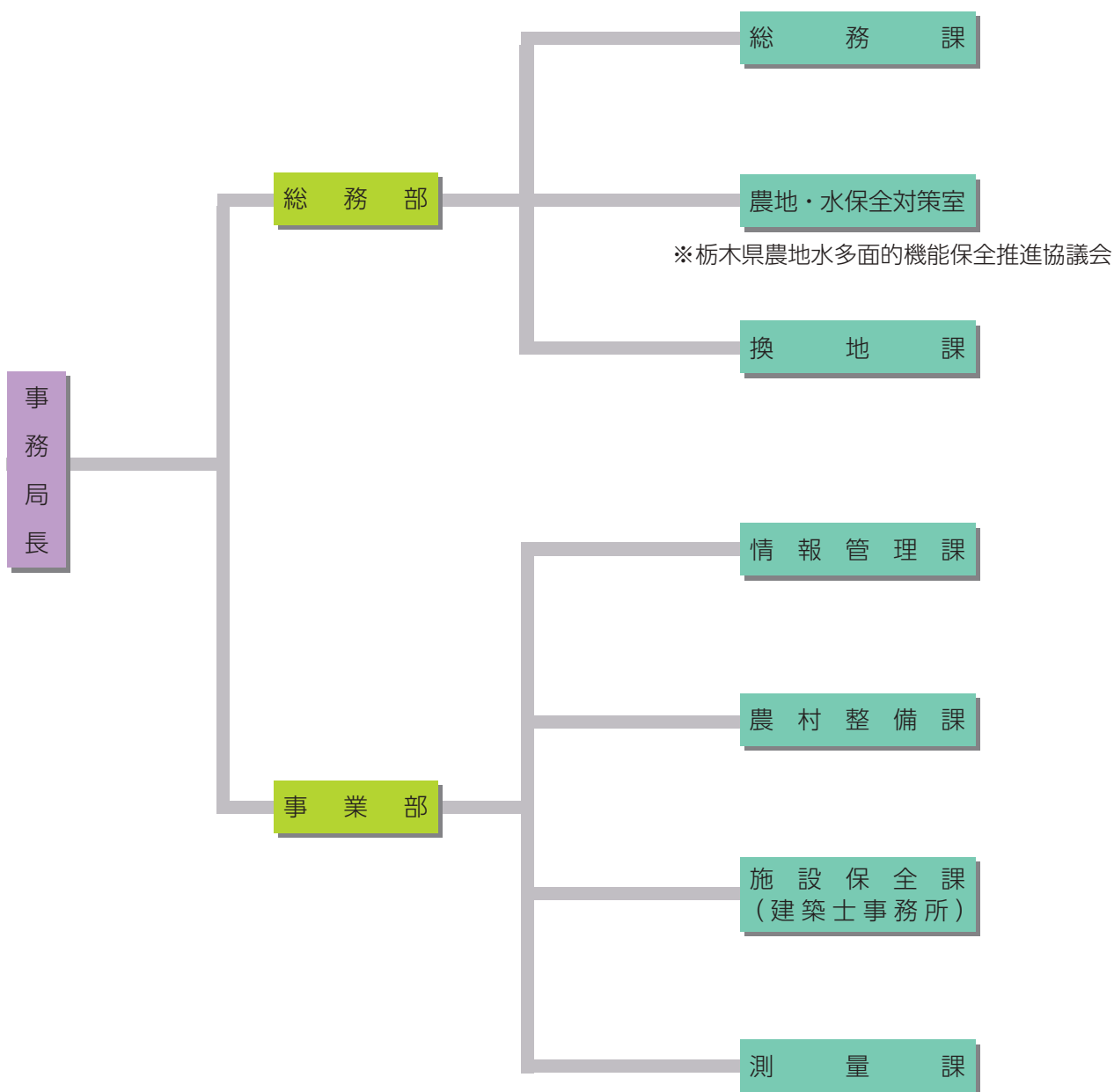
総務課長（総務課主幹（総務企画・会計経理担当G L））	富山 英幸
総務課主幹（総務課長補佐）	○船山 訓男
農地・水保全対策室主幹（総務部付主幹（芳賀町土地改良区出向））	小藤 克己
換地課長（換地課主幹（換地計画G L））	廣瀬 信昭
換地課主幹（主幹（換地業務担当G L））	越井 富男
換地課副主幹（係長（兼）水土里情報センター）	○江面 憲治
換地課係長（新規採用）	高松 和人
換地課嘱託	田代 悟
事業部次長・調査計画担当（農村整備課長）	○佐藤 静夫
情報管理課長（情報管理課長（兼）水土里情報センター所長）	阿久津年之
情報管理課長補佐（農村整備課長補佐（農村整備担当G L））	菊地 一俊
情報管理課係長（情報管理課係長（兼）水土里情報センター）	大塚 芳明
情報管理課技師（施設保全課技師）	戸叶 貴久
事業部次長（兼）農村整備課長（施設保全課長）	○村上 祐二
農村整備課主幹（情報管理課主幹（技術業務担当G L））	渡辺 光一
農村整備課長補佐（農地・水保全対策室副主幹）	大島 俊久
施設保全課長（総務課長）	天川 幸人
施設保全課主幹（施設保全課主幹（施設保全担当G L））	関谷 昌宏
測量課主幹（測量課長補佐（測量業務担当G L））	○笹沼日出夫

本会職員 of 退職者（平成29年3月31日付け）

◆退職者（敬称略）

総務部次長（兼）換地課長	田代 悟
総務課長補佐（指導広報担当G L）	水上 洋一

平成29年度 水土里ネットとちぎ事務局機構



◇ 職員数 ◇

所属	職員	嘱託	補助職員	計
事務局	1名	—	—	1名
総務部	24名	1名	7名	32名
事業部	34名	2名	7名	43名
計	59名	3名	14名	76名

(平成29年4月1日現在)

平成28年度第4回理事会を開催

日 時：平成 29 年 2 月 23 日（木）

午前 10 時 00 分～

場 所：栃木県土地改良会館

本会は、去る 2 月 23 日、栃木県土地改良会館において、第 4 回理事会を開催しました。

会議は、高橋総務部長の司会進行で開会し、大久保寿夫会長の開会挨拶に続いて、荒井真一栃木県農政部農村振興課長から来賓挨拶をいただき、議事に入りました。

議事は、大久保会長が議長となり、横山事務局長の議案等説明の後、次の議事及び協議事項、報告事項について審議し、全て原案どおり可決決定・承認されました。



開会挨拶を述べる大久保寿夫会長

【議事】

- 第 1 号議案 平成 28 年度一般会計予算の補正について
- 第 2 号議案 平成 29 年度事業計画について
- 第 3 号議案 平成 29 年度賦課金徴収基準及び徴収の方法について
- 第 4 号議案 平成 29 年度受託料徴収基準について
- 第 5 号議案 平成 29 年度一般会計予算について
- 第 6 号議案 平成 29 年度役員報酬について
- 第 7 号議案 平成 29 年度一時借入金の借入限度、借入先、利率及び償還方法について
- 第 8 号議案 平成 29 年度金銭の預入先について
- 第 9 号議案 第 98 回通常総会の招集及び同総会付議事項について
- 第 10 号議案 表彰規程による表彰者の選考について
- 第 11 号議案 員外役員の推薦について

【協議事項】

- 第98回通常総会における要望事項等決議(案)について

【報告事項】

- 平成 29 年 4 月職員採用について

平成28年度第3回監事会を開催

日 時：平成 29 年 2 月 28 日（火）

午前 10 時 00 分～

場 所：栃木県土地改良会館

本会は、平成 28 年度第 3 回監事会を開催しました。

会議は、高橋総務部長の司会進行で開会し、和氣六一郎代表監事が議長となり、次の議事について原案どおり議決し、会議を途中休会し、監査を執行しました。

議事を再開し、監査結果は、「概ね良好」と判定され、監査報告書を決定しました。

最後に、それぞれ監査報告書及び関係帳簿に署名押印を行い閉会しました。

【議事】

- 第 1 号議案 平成 28 年度業務の執行状況及び同一般会計の執行状況並びに財産の状況に関する監査について



開会挨拶を述べる和氣六一郎代表監事

第98回通常総会を開催 土地改良功労者5団体・18名を表彰 合併功績者1名に感謝状を贈呈

日時：平成 29 年 3 月 22 日（水）午前 10 時 00 分～
場所：栃木県土地改良会館

会員 140 名（内書面議決 48 会員）の出席のもと、第 98 回通常総会を開催し、次の 10 議事について審議をいただいたところ、全て原案どおり承認、議決されました。また、予定された議案の審議が終了したところで、荒川南部土地改良区の久郷浩理事長から農業農村整備事業の推進を求める決議（後記）が提出され、総会に諮ったところ、満場一致で採択されました。

また、総会終了後に、田中久二関東農政局地方参事官から、「農業農村整備事業の現状と課題」と題して約 30 分間の講演をいただきました。

なお、功労者表彰受賞者は後記のとおりです。

- 第 1 号議案 平成 28 年度一般会計予算の補正について
- 第 2 号議案 平成 29 年度事業計画について
- 第 3 号議案 平成 29 年度賦課金徴収基準及び徴収の方法について
- 第 4 号議案 平成 29 年度受託料徴収基準について
- 第 5 号議案 平成 29 年度一般会計予算について
- 第 6 号議案 平成 29 年度役員報酬について
- 第 7 号議案 平成 29 年度一時借入金の借入限度、借入先、利率及び償還方法について
- 第 8 号議案 平成 29 年度金銭の預入先について
- 第 9 号議案 総会議決事項の理事会委任について
- 第 10 号議案 役員の新選任について
- 追加議案 農業農村整備事業の推進を求める決議(動議)

新役員（敬称略）

理事 池田真久（学識経験者）

監事 穂野和人（学識経験者）



主催者挨拶する大久保寿夫会長



講演する田中久二関東農政局地方参事官

【農業農村整備事業の推進を求める決議】

本県の農業・農村は、豊富な水資源と肥沃な土壌、穏やかな気候に恵まれ、米麦・園芸・畜産など地域性豊かな農業が、バランスよく展開されてきた。また、豊かな国土や自然環境の保全など、多面的機能の発揮のもと、県土の維持形成に大きな役割を果たしてきた。

また古くから、先人達は、農業・農村の健全な発展のため、農地や農業用の水路など、地域資源の維持・向上のため、献身的な努力を続けてきた。

しかしながら、現下の農業・農村をめぐる状況は、担い手の高齢化やグローバル化の進展など大きく変化しており、加えて農業生産基盤の老朽化、地域コミュニティ機能の低下など、農業農村が抱える課題はより多様化、深刻化が進んでいる。

このような状況の中、国は新たな土地改良長期計画を

策定し、産業政策としての「豊かで競争力ある農業」、地域政策としての「美しく活力ある農村」、この土台としての「強くてしなやかな農業・農村」を掲げ、各種施策を展開しているところである。

一方、県においても、「水土里づくりプランⅢ」を策定し、生産基盤整備を強力に推進し、力強い成長産業としての「競争力の高いとちぎの強い農業」の実現と、「活力ある農村」づくりを図るため、各種事業を推進することとしている。

我々水土里ネットは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、国・県が目指している方向の実現に向け、積極的に貢献をしていく覚悟の下、農業・農村の更なる発展のため総力を結集し、国・県の関係機関に、次の事項の実現を強く要請する。

記

- 一、農業農村整備事業の計画的かつ着実な推進と、それに必要な予算を確保すること
- 一、国際化に対応できる経営体育成に向けて、再整備を含めた圃場整備事業を積極的に推進するとともに、きめ細やかな整備が可能な農地耕作条件改善事業の導入を支援すること
- 一、安定的な農業生産条件を確保するため、農業水利施設の更新整備に向けて水利施設整備事業等を計画的に推進するとともに、土地改良施設維持管理適正化事業等への支援を強化すること
- 一、農地中間管理事業による担い手への農地集積・集約の推進に当たっては、農地整備事業との連携を強化するとともに、水土里ネットが有する技術、経験、水土里情報システムなど持てる能力を十分発揮できるよう配慮すること
- 一、担い手等のニーズに応える高度な施設の維持管理が行えるよう、地域資源を有効に活用した小水力発電等による施設の維持管理の軽減など、水土里ネットの運営基盤を強化できる仕組みを取り入れること

平成 29 年 3 月 22 日

栃木県土地改良事業団体連合会第 98 回通常総会



決議を述べられる久郷浩荒川南部土地改良区理事長

◆平成 28 年度表彰者（敬称略）

1 団体表彰（5 団体）

◎建設業者

辰巳建設 株式会社
株式会社 五十畑組
株式会社 荒井工業
有限会社 塚原土木
有限会社 杉山組

小 菅 久 生（喜連川土地改良区）
岡 本 恵美子（鬼怒川東部土地改良区）
佐 藤 雄次郎（荒川南部土地改良区）
三 田 健 也（三栗谷用水土地改良区）

◎本会職員（2 名）

田 代 悟（総務部）
水 上 洋 一（総務部総務課）

2 個人表彰（18 名）

◎土地改良区理事長（3 名）

入 江 利 長（富屋西部土地改良区）
上 田 芳 雄（深津土地改良区）
阿 見 正 二（塩那台地土地改良区）

◎県職員（5 名）

渋 井 太美雄（河内農業振興事務所）
八木沢 英 一（上都賀農業振興事務所）
福 田 靖 夫（下都賀農業振興事務所）
池 田 真 久（塩谷南那須農業振興事務所）
古 口 清 貴（県土整備部技術管理課）

◎市町職員（1 名）

毛 塚 芳 彦（栃木市都賀総合支所産業振興課）

◎土地改良区職員（7 名）

田 村 長 工（鬼怒中央土地改良区連合）
藤 田 ひき子（鬼怒川中部土地改良区連合）
青 木 まり子（思川西部土地改良区）

◆平成 28 年度功績者感謝状贈呈者（敬称略）

◎合併土地改良区理事長

田 崎 哲 夫（元五斗内土地改良区）



代表授与される受賞者

平成29年度第1回理事会を開催

日 時：平成 29 年 4 月 10 日（月）

午後 4 時 30 分～

場 所：宇都宮市内

本会は、去る 4 月 10 日、宇都宮市内のホテルにおいて、第 1 回理事会を開催しました。

会議は、高橋総務部長の司会進行で開会し、大久保寿夫会長の開会挨拶に続いて、清水靖夫栃木県農政部長から来賓挨拶をいただき、議事に入りました。

議事は、大久保会長が議長となり、横山事務局長の議案等説明の後、次の議事及び報告事項について審議し、全て原案どおり可決決定・承認されました。

【議事】

第 1 号議案 常任理事の互選について

選任された専務理事 池田 真久

第 2 号議案 平成 29 年度一般会計予算の補正について

【報告事項】

第 40 回全国土地改良大会（静岡大会）について



開会挨拶を述べる大久保寿夫会長

平成29年度第1回監事会を開催

日 時：平成 29 年 4 月 10 日（月）

午後 4 時 15 分～

場 所：宇都宮市内

本会は、平成 29 年度第 1 回監事会を開催しました。
会議は、富山総務課長の司会進行で開会し、和氣六一郎代表監事が議長となり、高橋総務部長の議案説明の後、次の議事について審議し、原案どおり可決決定されました。



監事会の様子

【議事】

第 1 号議案 平成 29 年度監査計画について

平成29年度栃木県土地改良事業推進協議会 第1回役員会を開催

日時：平成 29 年 4 月 10 日

午後 3 時 00 分～

場所：宇都宮市内

去る 4 月 10 日、宇都宮市内のホテルにおいて、平成 29 年度栃木県土地改良事業推進協議会第 1 回役員会が開催されました。

同協議会は、栃木県の農業生産基盤並びに農村生活環境の整備開発を推進し、農業生産性の向上と農村生活環境の改善を促進することを目的として、土地改良事業推

進のための調査啓蒙、関係機関及び関係団体との連絡調整などを行っております。

会議は、高橋勇丞会長（北那須土地改良事業推進協議会会長）が開会挨拶を述べた後、議長となって進められ、第 1 号議案平成 27 年度事業報告について、第 2 号議案平成 27 年度収入支出決算について、第 3 号議案平成 29 年度事業計画について、第 4 号議案平成 29 年度収入支予算についての 4 議案について審議が行われ、それぞれ原案どおり承認、議決されました。



役員会の様子

平成29年度栃木県21世紀土地改良区 創造運動推進委員会を開催

日時：平成 29 年 4 月 10 日

午後 3 時 50 分～

場所：宇都宮市内

本会は、去る 4 月 10 日、宇都宮市内のホテルにおいて、平成 29 年度第 1 回栃木県 21 世紀土地改良区創造運動推進委員会を開催しました。

この委員会は、栃木県における 21 世紀土地改良区創造運動を着実に推進することを目的として、創造運動に関する調査、研究、啓発や土地改良区への指導、支援等の事業を行っております。

会議は、高橋勇丞委員長（北那須土地改良事業推進協議会長）が開会挨拶を述べた後、議長となり、第 1 号議案副委員長の互選については、去る 3 月 31 日をもって退任された、穂野和人副委員長の後任の互選について上



開会挨拶する高橋勇丞委員長

程され、全会一致で池田真久理事が選任されました。また、第 2 号議案平成 28 年度活動報告について及び第 3 号議案平成 29 年度活動計画についての 2 議案の審議を行い、それぞれ原案どおり承認並びに議決しました。

平成29年度 栃木県土地改良区統合整備推進協議会を開催

日時：平成 29 年 4 月 10 日

午後 3 時 25 分～

場所：宇都宮市内

本会は、去る 4 月 10 日、宇都宮市内のホテルにおいて、平成 29 年度第 1 回栃木県土地改良区統合整備推進協議会を開催しました。

同協議会は、栃木県が推進する土地改良区の統合整備対策に積極的に参画、支援していくことを目的として、平成 7 年度に本会内に設置し、統合整備に関する調査、研究、啓発や指導助言等の事業を行っております。

会議は、高橋勇丞委員長（北那須土地改良事業推進協議会長）が開会挨拶を述べた後、議長となり、第 1 号議

案副委員長の互選については、去る 3 月 31 日をもって退任された、穂野和人副委員長の後任の互選について上程され、全会一致で池田真久理事が選任されました。また、第 2 号議案平成 28 年度活動報告について及び第 3 号議案平成 29 年度活動計画についての 2 議案の審議を行い、それぞれ原案どおり承認並びに議決しました。

続いて、報告事項においては、とちぎ土地改良区アクションプランに基づく取組について、オブザーバーとして出席した田村真悟栃木県農地整備課管理指導担当係長より、平成 28 年度の主な取組・成果について、および平成 29 年度の主な取組について、計画を推進するための具体的取組について説明を受けました。



開会挨拶する高橋勇丞委員長



報告事項を説明する田村真悟係長

平成29年度 農業農村整備広報担当者会議に出席

日 時：平成 29 年 4 月 24 日（月）

午後 1 時 30 分～

場 所：東京都内砂防会館

去る 4 月 24 日、東京都内の砂防会館にて、平成 29 年度農業農村整備広報担当者会議が、全国水土里ネット主催で開催されました。

我が国は農業就業者の高齢化や減少とともに、高齢者のリタイヤ等による農地の荒廃、更には担い手不足による農地、農業用水等の管理や営農継続への影響など様々な影響をもたらすことが想定されています。この状態を放置すれば、農業・農村はもとより、土地改良区の運営

基盤にも大きな影響を与え、改良区の活動自体の停滞を引き起こし兼ねません。これらを踏まえ、この会議は、今こそ関係者で何をすべきかを考え、情報を共有し、より効果的で積極的な広報活動を展開すべく担当者の意思の疎通を図るために毎年開催されています。

冒頭、全国水土里ネット小林祐一専務理事の挨拶をいただいたのち、議事に入り、会議の活動方針を決定いたしました。

その後、「水土里ネットコミュニケーション戦略をいっしょに考える」というテーマで、(株)日本経済広告社執行役員の杉本一夫氏からクリエイティブブリーフ(広告の設計図)について講義をいただきました。



挨拶する小林祐一専務理事



講義される杉本一夫氏

* 活動方針 *

- ① 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2017 の実施
- ② 農業農村整備優良地区コンクール（NNコンクール）と 21 世紀土地改良区創造運動表彰の実施
- ③ “ 疎水 ” を活かした広報の展開（疎水ネットワークへの支援）
- ④ ホームページ等を活用した情報発信の強化
- ⑤ メディアを活用した情報発信の強化
- ⑥ 水土里レポーターの取り組み
- ⑦ 広報セミナー（ワークショップ）の開催
- ⑧ 新たな情報発信の強化
- ⑨ その他（地域活性化のための女性力の活用等）

多面的機能支払交付金に係る ステップアップ推進講座を開催

栃木県農地水多面的機能保全推進協議会

栃木県農地水多面的機能保全推進協議会は、去る2月6日、栃木県総合文化センターメインホールに於いて『多面的機能支払交付金に係るステップアップ推進講座』を開催しました。講座には、農村環境の保全活動に取り組む活動組織や行政職員など1,000名を超える参加者が集まり、基調講演や活動・取組み事例の紹介に熱心に耳を傾けました。

はじめに、大久保寿夫県協議会長（大久保寿夫水土里ネットとちぎ会長）から、「地域コミュニティーの活性化や地域住民・都市住民等の活動への参画を推進するため、新たな取り組みのきっかけとされたい」と開会挨拶がありました。続いて、永嶋善隆農林水産省関東農政局次長並びに小林延年栃木県農政部長から来賓挨拶が述べられました。



大久保寿夫会長挨拶



永嶋善隆局次長挨拶



小林延年農政部長挨拶

第1部の「田んぼまわりの生きものマップ・とちぎの豊かな農村づくり写真コンテスト表彰式」では、大久保寿夫会長から入賞をされた後記16作品の活動組織代表者に賞状及び記念品が授与されました。また、審査委員

長の水谷正一宇都宮大学名誉教授からは、コンテストの意義並びに入賞作品の講評をいただき、受賞者で記念撮影も行われました。



表彰状授与



水谷正一宇都宮大学名誉教授による作品の講評



受賞者記念撮影

第2部の基調講演では、「今と昔の田んぼの生きもの」と題し、守山拓弥宇都宮大学農学部農業環境工学科准教授により基調講演が行われ、生きもの調査を通じた地域づくりの効果や、生態系保全活動による生きものの生息

状況の変遷に加え、生きもの地域別の捕獲方法や呼び名の移り変わりなどについて講義され、参加者は興味深く傾聴している様子でした。

第3部は、活動・取組み事例の紹介として、宇都宮市内の相良律子申内環境保全会事務局長より「多面的機能支払交付金を活用した地域づくり」と題して、地域農業の普及・発展として地域の子供たちによる農業体験や、一度は休止した多面的機能支払交付金活動組織を復活さ

せた事例などの紹介をいただきました。続いて、水土里ネットとちぎ福田信博より「生きもの調査から始まる生態系保全活動の事例」と題して、地元日光地域で取り組んでいる生きもの調査アドバイザーとしての活動事例が紹介されました。



守山拓弥宇都宮大学農学部准教授による基調講演



相良律子申内環境保全会事務局長による事例紹介



水土里ネットとちぎ福田信博による事例紹介

「田んぼまわりの生きものマップ・とちぎの豊かな農村づくり写真コンテスト」入賞作品紹介

田んぼまわりの生きものマップ



最優秀賞

みたとうぶ保全会 島田南若あゆの里 (小山市)

優秀賞

板荷畑いつくし美会 (鹿沼市)
 鴻之宿の環境を守る会 (市貝町)
 興野ほたるの里づくり環境保全会 (那須烏山市)

審査員特別賞

思川西部農村環境保全会 桜の里間中 (小山市)
 小山用水保全協議会
 鉢形環境保全会・東山田弁天環境保全会 (小山市)

とちぎの豊かな農村づくり写真

(1) 田んぼまわりの生きもの調査の部



最優秀賞

小泉環境保全会 (益子町)

優秀賞

原環境保全会 (益子町)
 尾羽の里環境保全会 (益子町)
 新福寺環境保全会 (益子町)

(2) 地域ぐるみの活動の部



最優秀賞

本郷・松本環境保全組合（益子町）

優秀賞

上山資源保全会（益子町）

鴻之宿の環境を守る会（市貝町）

思川西部農村環境保全会 いしのうえ稲穂の里（小山市）

審査員特別賞

柴地区環境保全会（下野市）

湧水の郷塩田環境保全会（矢板市）

平成28年度土地改良区体制強化事業 技術実践向上研修会を開催

日時：平成 29 年 2 月 21 日

午前 10 時 00 分～

場所：栃木県土地改良会館

本会は、去る 2 月 21 日、栃木県土地改良会館において、平成 28 年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修会を開催し、96 名が参加しました。

本研修は、農業農村整備事業の円滑な実施を目的とし、

市町職員および水土里ネットの役職員の技術力向上を図るべく、土地改良区体制強化事業の一環として実施しています。

開講にあたり、穂野和人専務理事が挨拶を述べ研修に入りました。

関東農政局から講師をお招きし、下記カリキュラムに沿ってご指導をいただき、大変有意義な研修会となりました。



穂野和人専務理事による開講挨拶



研修会の様子

カリキュラム

研修科目	講師（敬称略）
①施工管理（出来形）について ・工事の施工管理に関する資料の纏め方と留意点 ・工事に当たっての各種協議（河川・道路・法定外公共物） ・会計実地検査に備えて	関東農政局 土地改良技術事務所 専門技術指導官 高須 良行
②品質管理（材料）について ・材料検査のチェックポイント	関東農政局 土地改良技術事務所 専門技術指導官 高須 良行
③コスト縮減（維持管理コスト）について ・ゲート設備の塗装に関する概略診断について ・長寿命化施工事例と留意事項	関東農政局 土地改良技術事務所 専門技術指導官 高須 良行
④施設管理について ・土地改良区が維持する施設と留意点について	関東農政局 農村振興部水利整備課 管理調整官 山崎 祐治

市貝町の2土地改良区が 合併予備契約を締結

市貝町土地改良区と小貝川中部土地改良区は、去る2月24日、市貝町土地改良区事務所において、入野正明市貝町長及び田中敏夫栃木県農政部参事兼芳賀農業振興事務所長立ち合いの下、合併予備契約書の調印式を挙行了いたしました。

この合併は、行政や地域との連携を深めながら、組織運営基盤をより一層強化し、効果的な維持管理事業の推進と効率的な運営を図っていくために、市貝町土地改良区が小貝川中部土地改良区を吸収する「吸収合併」について、昨年11月に合併推進協議会を設立し、協議を行って来ました。

調印式は、合併推進協議会副会長の仲山純男小貝川中部土地改良区理事長が開会の辞を述べた後、合併推進協

議会長の藤平元一市貝町土地改良区理事長が挨拶に立ち、「農村は、高齢化と担い手不足が進んでいる。維持管理をしっかりとやるためには、組織運営基盤の強化が必要であり、合併により農業の近代化を推進して参りたい。」と述べられました。

調印式は、藤平理事長から順に、仲山理事長、入野町長、田中所長がそれぞれ合併予備契約書に署名し、合併予備契約が締結されました。

その後、立会人を務めていただいた入野町長及び田中所長からご祝辞をいただき、仲山理事長が閉会の辞を述べ、滞りなく調印式が終了しました。

今後、両土地改良区は、本年12月の合併認可に向けて、所要の手続きを進めることとしています。

◇新土地改良区の概要◇

名称：市貝町土地改良区（吸収合併）
 受益面積：828.8ha
 組合員数：1,103人
 総代数：43人
 役員数：理事18人、監事3人



吸収合併に係る諸手続き

- 1 合併推進用議会設立 → 2 統合整備計画書の作成・合併予備契約書の作成 →
- 3 合併予備契約書の締結 → 4 合併総(代)会開催 → 5 合併認可申請 →
- 6 合併認可及び公告 → 7 総代選挙の実施(必要に応じて執行) → 8 総代会の開催

第58回全国土地改良功労者等表彰式

去る3月24日、東京都千代田区平河町のシェーンバッハ・サバーにおいて、全国水土里ネット主催による第58回全国土地改良功労者等表彰式が開催されました。

表彰式は、農林水産省から山本有二農林水産大臣をはじめ、佐藤速水農村振興局長、室本隆司同次長、奥田透同整備部長、安部伸治同整備部設計課長、山口潤一郎同整備部土地改良企画課長、横井績同整備部農地資源課長を来賓に招き、全国の受章者・土地改良関係者約600名が出席して盛大に開会されました。最初に、二階俊博全国水土里ネット会長が式

辞を述べられ、続いて、山本有二農林水産大臣及び参議院議員進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問からご祝辞を頂いた後、農林水産大臣表彰(5地区)、農村振興局長表彰(2地区)、①土地改良功労者表彰(金章38地区、銀章49地区、銅章27地区、個人116名)、②平成28年度農業農村整備優良地区表彰、③平成28年度21世紀土地改良区創造運動表彰が執り行われました。

本県関係では、それぞれ下記の団体及び個人がめでたく受賞の栄に浴しました。

本県関係の受章団体(個人)は次のとおりです。

①土地改良功労者表彰(敬称略)

金章 石橋土地改良区(下野市)
 銀章 小倉堰土地改良区(栃木市)
 市貝町土地改良区(市貝町)
 銅章 城山土地改良区(宇都宮市)
 個人 松本 紘雄(藤沢用水土地改良区連合理事長)
 船見 和哉(小川土地改良区事務局長)
 羽石 幸一(真岡市土地改良区事務局長)

②平成28年度農業農村整備優良地区表彰

全国水土里ネット会長賞
 ●農業生産基盤整備部門
 「江川・五千石地区」南河内土地改良区(下野市)
 ●農村振興整備部門
 「道の駅サシバの里いちかい」
 小貝川沿岸Ⅰ期、Ⅱ期地区(市貝町)



①式辞を述べる二階俊博全国水土里ネット会長



②代表授与される黒川英代南河内土地改良区理事長



③金章を受賞された石橋土地改良区



④本県の受賞者の皆様

第40回全国土地改良大会「静岡大会」のお知らせ

第40回全国土地改良大会「静岡大会」が、

～「ふじのくに」で語ろう 土地改良が創る豊かな水土里を～

をテーマとして、主催「全国土地改良事業団体連合会」、「静岡県土地改良事業団体連合会」、後援「農林水産省」、「静岡県」、「静岡県議会」、「沼津市」、「静岡州市長会」、「静岡県町村会」、「静岡県土地改良事業推進協議会」、「静岡県農業協同組合中央会」、「静岡県経済農業協同組合連合会」、「(公社)静岡県山林協会」、「静岡県漁業協同組合連合会」、「静岡県水産加工業協同組合連合会」、「「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合」により、来る10月25日(水)沼津市内のふじのくに千本松フォーラム「プラザヴェルデ」を会場に開催されます。

全体タイムテーブル

平成29年10月25日(水) 大会式典等



時刻	内容
9:30	開場 受付開始
9:30～ 18:30	静岡県の特産物販売 静岡県の農業農村整備等を紹介する ブース、パネル展等
11:00～ 12:50	昼食 会場「コンベンションホール A」他
12:10～ 13:00	歓迎セレモニー 会場「多目的ホー ル」
13:00～ 16:00	大会式典 会場「多目的ホール」 開会宣言、国歌斉唱、開会挨拶、 主催者挨拶、歓迎のこたば 来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露、 土地改良事業功績者表彰、 基調講演、土地改良事業優良事例 報告、土地改良応援講演 大会宣言、次期開催地紹介、大会旗 引継ぎ、次期開催地挨拶、閉会挨拶、 閉会宣言
	(プラザ ヴェルデ内移動)
17:00～ 18:30	交歓会 会場「コンベンションホー ルA」他

平成29年10月26日(木)～27日(金) 事業視察

コース (案)

日帰りコース	1泊コース
東部基本コース 中部基本コース 西部基本コース	伊豆・東部堪能コース 静岡堪能コース



氏名 高木 英昌
所属
事業部 施設保全課

私は11年間、東京の建築会社にて施工管理の仕事をしていましたが、昨年の4月に長男が誕生したのを期に地元の栃木県に帰郷することを決意しました。

大学では土木科を専攻していましたが、今まで建築の仕事をしていましたので土木や測量の実務経験はありません。しかし、いままでの社会経験と栃木の農業に貢献できるという想い、それと地元で家族と暮せる幸せで連合会で働くことに不安は感じませんでした。

仕事を始めて約1か月が経ちますが測量等で県内のいろいろな場所に行くたびに、あらためて栃木の広大で豊かな自然に驚かされています。子供がもう少し大きくなったら、県内のいろいろな場所へ連れて行き、栃木の良さを伝えたいと思っています。

これからご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、生活の基盤である水土里を守り、ふるさと栃木の農業発展に貢献できるよう精一杯がんばりますので宜しくお願い致します。



氏名 関本ひかり
所属
総務部 総務課

大学を卒業後は新潟県のキノコ工場で働いていました。1年間というわずかな期間でしたが、県外で働いたことにより、地元である自然豊かな栃木県で仕事をしたいと考えようになりました。市貝町での事務補助を経た後、今回、ご縁があり、本会に採用されたことを嬉しく思っております。母方の実家が農家であり、幼いころから祖父母の働く姿をみてきました。今後は、総務課の一員として、本会の縁の下の力持ちとなり、栃木県の農業の発展に貢献したいと思っております。

ご迷惑をおかけすることも多々あるとは思いますが、早く一人前になれるよう精進致しますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



規 採 用 職 員 紹 介



氏名 野崎 晋佑
所属
総務部 換地課



私は大学で環境系の研究室に所属していました。そこで学んだ知識を活かしたいと思い、本会を志望しました。また、親戚が農家で幼い頃から農業を身近に感じていたため興味があったということも本会を志望した理由の1つです。

しかし、実家は新潟県であり、縁もゆかりもない栃木県に新卒採用で単身飛び込むことに初めは大きな不安を感じていました。まだ新生活に慣れていない中で新年度になり、仕事が始まることも憂鬱でした。しかし、職場の優しい先輩方のご指導や温かい歓迎のおかげで不安や憂鬱を取り払うことができました。

仕事、農業のどちらの面でもまだ分からないことが多々ありますが、栃木の農業に貢献できるよう、知識を蓄えたいと考えています。また、しばらくはご迷惑をおかけするかと思いますが、1日でも早く仕事を任せて頂けるように努力と初心を忘れることなく精進しますのでよろしくお願い致します。

私は大学で森林について学んでいました。講義において野外での実習が多く、測量の実習も行ってきました。大学で経験したことを少しでも生かしたいと考え、本会に就職を希望しました。

また、親戚の家が農家であり、私自身の家の周りにも田畑が多く、自然豊かな環境で育ってきました。そのような環境の整備・保全に携わる仕事ができるということも、本会に就職したいという要因の一つでした。

大学を卒業したばかりの新社会人なため分からないことばかりであり、不安が無いとは言えませんが、先輩方が丁寧に教えてくださるため、充実した毎日になっています。一人前の社会人には程遠く、多大なご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、日々の経験を大切に成長していけるよう努力していきますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



氏名 渡邊 拓也
所属
事業部 農村整備課



各種資格取得者(平成28年4月～平成29年3月)

平成 28 年度において、各種資格試験に合格し、登録機関に登録となった職員は以下のとおりです。通常業務を遂行しながら切磋琢磨し、資格試験にチャレンジいたしました。

会員のみなさまのご期待に応えられるよう、今後とも努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

部署	氏名	資格名称
総務部長	高橋 克己	土地改良換地士
施設保全課 課長補佐	佐藤 和宏	農業水利施設補修工事品質管理士
農村整備課 係長	和氣 毅	農業土木技術管理士
測量課 係長	高田 雄一	農業土木技術管理士
農村整備課 係長	柿岡 貴弘	技術士補 (農業部門)
農村整備課 技師	福田 初美	測量士補
施設保全課 技師	成松 翔太	測量士補



第99回臨時総会・平成29年度会員研修会のお知らせ

本会は次のとおり、第 99 回臨時総会と平成 29 年度会員研修会を開催いたします。

◇第 99 回臨時総会◇

日 時 平成 29 年 8 月 29 日 (火)
午後 2 時から
場 所 鬼怒川グランドホテル夢の季
日光市鬼怒川温泉大原 1021
TEL : 0288 - 77 - 1313 (代)

◇平成 29 年度会員研修会◇

○ (1 日目)
日 時 平成 29 年 8 月 29 日 (火)
午後 3 時 30 分から
○ (2 日目)
日 時 平成 29 年 8 月 30 日 (水)
午前 9 時から
場 所 鬼怒川グランドホテル夢の季 (両日とも)
日光市鬼怒川温泉大原 1021
TEL : 0288 - 77 - 1313 (代)

クールビズ開始のお知らせ

本会では、今年度においても、職員の健康保持及び事務能率の向上並びに電力量消費節約に資するため、次の期間はノーネクタイ等の軽装にて業務を行いますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

実施期間：5月1日から10月31日まで

出前講座を活用しましょう

本会では、土地改良区の役職員等を対象とした出前講座を行っております。

講座内容については、役員改選等により新しく役員に就任された方々のための役員の職務について、土地改良区業務運営に係るものなど、幅広い内容でご要望に応じて対応させていただきますので、次の連絡先までお気軽にお申し込みください。

◇連絡先◇

水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会）

総務部 総務課 電話：028-660-5701

FAX：028-660-5711

会員向けホームページ作成サービス開始のお知らせ

今年度より、会員様を対象としたホームページ作成サービスを開始いたします。

気軽にホームページを開設出来る様に、導入費・維持費共に安価にて提供出来る様、考えております。

詳しくは総務課まで、お気軽にお問い合わせください。

◇連絡先◇

水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会）

総務部 総務課 電話：028-660-5701

FAX：028-660-5711



株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ

農業基盤整備資金の金利

平成29年2月20日付けで、農業基盤整備資金の金利が次のとおり改定されました。

金利情勢によって変動いたしますので、最新の金利は宇都宮支店にお問い合わせいただくか、金融公庫ホームページでご確認ください。

(単位：%)

区 分	融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）			
		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	0.45	—	—	—	—
団体営補助残	0.30	—	—	—	—
非補助一般	0.30	—	—	—	—
非補助利子軽減	0.30	—	—	—	—
災害復旧	—	0.16	0.16	0.25	0.30

問い合わせ先：株式会社日本政策金融公庫

宇都宮支店 農林水産事業 農業食品課 担当：新井 TEL 028-636-3901

<http://www.jfc.go.jp/>

日本公庫

検索

編集後記

今年度、機関紙第一号の発行にあたり、短期間にもかかわらず皆さまには、記事・写真等の情報提供をいただきありがとうございました。今回は、少しでも多くの皆さまに愛される広報誌が出来ればと女子力をプラスし、優しい感じに仕上がっていると思いますが、いかがでしょうか？

第2号、3号でも、新しい企画を取り入れ思考を凝らした広報誌を作っていきたいと思いますので、要望・ご意見等がありましたらドシドシお寄せください。

感想もお待ちしています!!

先日、全土連主催の「農業農村整備広報担当者会議」に植木と私で行ってきました。右記の写真は、全国から集まった同じ悩みを抱えながらも、情報を共有し互いに頑張っていく仲間と撮ったもの(写真①)です。



各県広報担当者(写真①)

また週末には、本会OB高山充さんが『光風会展』(国立新美術館)に出展された絵画(写真②)を鑑賞してきました。かつては大谷石を切り出すために頻繁に使用されていたであろう機械が、年月を経て使用されなくなった現在においてもこのような形で受け継がれていることの素晴らしさを感じました。



栄華の夢(写真②)

終わりに、土地改良事業の継承に、本会の広報誌がお役に立てれば幸いです。

総務課 関本



- 発行 栃木県土地改良事業団体連合会
- ホームページアドレス <http://www.tcgdoren.or.jp/>
- メールアドレス soumu@tcgdoren.or.jp